

第 2 回 新市の名称検討小委員会会議録

召集年月日	平成15年12月5日(金曜日) 午後1時30分		
召集の場所	築館合同庁舎 第5会議室		
出席者	氏 名	職 名	
	1番	長谷川 厚子	学識経験委員(築館町)
	2番	三浦 徹也	" (若柳町)
	3番	佐藤 多恵子	" (栗駒町)
	4番	海老田 慶子	" (高清水町)
	5番	白鳥 文雄	" (一迫町)
	6番	津藤 國男	" (瀬峰町)
	7番	須藤 茂	" (鶯沢町)
	8番	後藤 和廣	" (金成町)
	9番	白鳥 一彦	" (志波姫町)
	10番	中條 彦登	" (花山村)
欠席者	なし		

次 第

1. 開会
2. 開会の挨拶
3. 案件
 - 1) 新市の名称の公募結果について
 - 2) 新市の名称候補の検討
 - 3) その他
4. 閉会の挨拶
5. 閉会

第2回 新市の名称検討小委員会

1. 開 会 午後1時30分

阿部事務局次長 それでは、皆さんどうも大変お忙しいところありがとうございます。

ただ今から第2回の新市の名称検討小委員会を開会したいと思います。

本日の小委員会の委員皆様全員ご出席されております。定足数に達しておりますのでご報告申し上げます。

2. 挨拶

阿部事務局次長 それでは、開会に当たりまして、白鳥委員長さんの方からご挨拶を頂戴します。

白鳥文雄委員長 皆様どうも大変ご苦労様でございます。

今回は第2回目の小委員会となりますが、新市の名称決定は非常に重要な案件であります。当地にふさわしい名称を決定するにあたり全国から募集した結果、1,784件の応募がありました。皆様方には既に応募結果等の資料が配布され、5種類を選定し、選定理由等も記入の上、事務局に提出されていることと思いますが、本日はその中から、更に協議検討を行い、当小委員会として5候補を選び、次回の合併協議会に報告したいと思います。皆様よろしくお願いいたします。

3. 案 件

白鳥文雄委員長 それでは早速案件に入ります。事務局から公募結果等について報告をお願いします。

1) 新市名称の公募結果について

阿部事務局次長 それでは、新市の名称公募結果についてご報告いたします。

新市の名称の公募方法については、第1回小委員会でもご確認いたしましたが、名称を広く全国より募集いたしました。募集に当たり新市の名称、名称のふりがな、記入した名称の理由、応募者の氏名連絡先等を記入の上応募いただきました。具体的な募集の手法と申しますか方法につきましては、協議会広報誌に応募用紙を同封し郡内毎戸に配布いたし、また、郡内各町村役場庁舎窓口に同様の応募用紙、回収箱を設置し募集いたしました。更には栗原地域合併協議会のホームページからも応募できるようにし、これら全てにつきまして平成15年9月20日土曜日から10月31日金曜日までの約1ヶ月余りの間募集を行ないました。

それでは資料1の「新市名称の公募結果について(総括表)」をご覧ください。集計の結果、応募総数は1,784件、このうち有効分の件数は1,726件となりました。無効分は58件、無効と判断した内容につきましては、名称、名称の理由が記載されていない等の内容となっております。

有効分における名称の種類数は全部で520種類。その他住所別、性別、年代別による内訳はご覧のとおりとなっております。

続きまして資料2でございますが、有効分の520種類の内上位10種類を抽出しお示ししてございます。以上でご報告を終わります。

2) 新市の名称候補の検討

白鳥文雄委員長 それでは名称候補の検討ということでございますが、新市の名称選定基準、選定方法、小委員会での選定手順に基づき、応募された名称より、お集まりの委員の皆様が5点に絞って事務局に提出され集約された資料等もございます。それら資料について事務局より説明をお願いします。

阿部事務局次長 それでは、新市の名称候補の選定基準、選定方法等、選定用紙の集約いたしましたものについてご説明いたします。

選定基準といたしまして、第1回目にもご確認したように、新市の名称は、漢字、ひらがな及びカタカナにより表記された読み書きが容易な名前とし、

栗原地域の特徴や地理的特性を表し、地域的にイメージできる名称

知名度や定着度があり、対外的にアピールでき、親しみやすい名称

栗原地域の歴史的由来や文化を表現する名称

栗原地域の理想や願いを表した名称

その他新市としてふさわしい名称

ただ今のいずれかに1つ以上に該当する名称とする、という基準であります。

続きまして選定方法でございますが、事務局で集約しました有効分の1,726件、520種類の名称集計表と名称候補選定用紙を小委員会委員の皆様にお渡しいたしました。そして委員皆様から回収いたしました名称候補選定用紙を集約したものが24種類となりました。

これら24種類の中から5種類程度を小委員会で選定した上で、協議会へ報告を行い決定することでございます。

白鳥文雄委員長 ただ今事務局から説明ありましたが、何かご意見ございますか。

はい、津藤委員。

津藤國男委員 瀬峰町の津藤です。

確認ですが、各委員から出されて事務局が集約した、この24種類の中から5点を選ぶということでもいいのですか。またそれは話し合いで選ぶのですか。確認です。

阿部事務局次長 選定方法については、各委員が名称候補選定用紙にご記入いただき、それらを集約した、この24種類の中から選定するということでございます。

また、選定に当りましては小委員会委員の皆様のご協議により、新市の名称第一次候補の5点をお決めいただければと思います。

海老田慶子委員 それでは、この24種類の名称以外に資料2にあります一般公募による名称の上位10位の名称は、どうしても追加しなければいけないということではないのですね。

阿部事務局次長 その件につきましては、委員皆様方でこの場でお決めいただくことですが、ご承知のとおり先に提出いただきました24種類の中から決めいただくというのが結構かと思えます。

長谷川厚子委員 5点程度とありますが、小委員会で選定する名称は例えば2点程度でもいいのでしょうか。皆さんの意見が一致すれば必ずしも5点にならなくてもいいと思いますがどうなのでしょう。

後藤和廣委員 なに、みんながよければ無理に5点を選定しなくてもいいんじゃないですか。

中條彦登委員 「北宮城市」という名称は、栗原のイメージとは違う感じがします。むしろ漢字で「栗駒高原市」の方が私はピッタリのような気がします。

白鳥一彦委員 今の中條さんのご意見ですが、とりあえず、そういう個々の名称を入れるか入れないかは後から検討すればいいんじゃないですか。まず今は何点にするかという話を決めた方が先に進めやすいから。委員長どうでしょうか。何点にするかさえ決めてしまえば進むと思いますが。

白鳥文雄委員長 はい。ただ今各委員さんからいろいろご意見やご提案を頂きました。

ただ、これは皆さんに確認ですが、前回第1回目の小委員会において5点程度、程度という幅がありますから、できれば5点に絞り込むということで話し合ってお互いに確認しあったはずであります。従って、本日は小委員会として5点を絞り込むということで確認したいと思いますが、皆さんよろしいでしょうか。

(「分かりました」「そうだった」の声あり)

はい、それではこの小委員会では5点に絞り協議会へ報告することでよろしいですね。

(「異議なし」の声あり)

ではそのように決定いたします。

それではですね、これから皆さんにこの24種類の中から5点に絞っていただく訳ですが、皆さんのご意見なりお考えを各自述べていって、それを整理するという形で進めたいと思います。

どうぞご遠慮なくご意見等を出してください。なお、ご発言の際は町村名とお名前をお願いします。

はい、津藤委員さん。

津藤國男委員 瀬峰町の津藤です。

私はですね、この24種類のうち漢字の「栗原市」とひらがなの「くりはらし」については、ここにおいで各委員のほとんどが候補に上げておられるようであり、なによりも私自身が思いますのは、10ヶ町村共通してなじみ深く親しみやすいという点。これは新しい市の名前としては非常に意味のあることだというふうに思います。従って、この2つにつきましては第一次候補の5点の中に入れてよいのではないのでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

ただそれからですね、「くり原市」についてはひらがなと漢字の両方を併せた表記ではありますが、現在使われている例からして、ひらがなまたは漢字のどちらかに統一した方がよいと思いますので、これは今回外して考えていいのではないのでしょうか。

白鳥文雄委員長 はい、長谷川委員さん。

長谷川厚子委員 築館町の長谷川と申します。

私もいろいろと考えて参ったつもりでございますが、もしおかしところとかありましたなら、どうぞ皆様にいろいろご指導いただければと思っております。

私が考えますのは「栗原市(くりはらし)」と「栗原市(くりばらし)」については漢字の表現は同じですが読み方が違うだけですよね。一般的には「原」という字は「はら」と発音していると思います。特に今の若い人たちは「はら」と発音している人が殆どだと思います。こんなことから、「栗原市(くりはらし)」につきましては津藤委員さんがおっしゃったように5点の中に入れてはいいと思いますけれど、「栗原市(くりばらし)」は除いてよいのではないのでしょうか。

白鳥文雄委員長 須藤委員さん。

須藤茂委員 鷺沢町の須藤です。

この渡された資料を見ますと「北宮城市」を候補案とした委員が複数あるようです。私も実はその一人なんでありますが、この「北宮城市」はその言葉の持つ地域性や、より広い範囲をイメージさせる感じがあり、また全国的にも通用し得るものと感じる訳なんです。「宮城県北の位置にある市」ということで分かり易いとも思いますことから、5点の第一次候補に入れてはどうでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

佐藤多恵子委員 栗駒町の佐藤です。

私も一応考えてまいりました。「くりこま高原市」については、24種類の候補とした委員さんが複数名いらっしゃいます。また、お分かりのとおり新幹線の駅名にも使用されて全国的にも知られており、新しい市の観光面などでの効果も考えますと、私としては5点の中に入れてよいのかなと思います。

ただ、先ほどどなたかがおっしゃいました漢字の「栗駒高原市」については、読み方は同じでも漢字表記なんですよ。だから今の「くりこま高原市」とはまたちょっと違うかなという感じです。やはり「くりこま高原市」だけでよいのかなと思います。

白鳥文雄委員長 はい、そちら白鳥委員さん。

白鳥一彦委員 この資料にある「新栗原市」と「栗原中央市」の2つについてですが、まず「新栗原市」についてですが、合併したての頃は「新」とついてもよいのですが、未来永劫使えるかといえれば疑問の気がします。それからもう一つ「栗原市」が実在して「新栗原市」や「栗原中央市」であれば分かる気はしますが、現実にそれが存在しない中での「新栗原市」「栗原中央市」というのはちょっとおかしい感じがします。従ってこの2つは除いてもいいのではないのでしょうか。

白鳥文雄委員長 若柳町の三浦委員さん。

三浦徹也委員 私はちょっと気になっていたのですが、この候補の中の「仙北市」「みちのく市」「みどり市」の3つについては、現在他の地域の合併協議会でも名称募集している中であって、おそらくここ栗原地域と同じように候補作品として上がっているようなことが予想されます。そうした場合に、例えばそちらの方で最終的に候補案として残って検討されるようなことになると、私どもの地域とダブってしまうようなことが起きてしまうのですが、このようなことは大丈夫なのでしょうか。

白鳥文雄委員長 事務局さん、その辺はどうなのでしょう。

濁沼事務局次長 ただ今の件ですが、他の地域の協議会で最終的に残るかどうかにつきましては事務局としても分かりかねるところであります。ただ、例えば栗原地域とどこかの地域において全く同一の名称が最終的に新市の名称に決まった場合には、これは正直言って早く決まったところが優先してくるのではないかという、これはあくまで予想の部分での話しですが、結論から言いますとそのようになるのではないかと思います。

三浦徹也委員 そうすると先ほどの3つの名称候補につきましては、候補案として上げられた委員さんはお1人ずつでもございますし、安全策とはいかないまでも栗原地域を表す独自性といった部分などからしても、今回は候補の中には入れておかないほうがよいのではないのでしょうか。

白鳥文雄委員長 後藤委員さんどうぞ。

後藤和廣委員 金成の後藤です。

私は「栗十市」「栗峰市」については、その言葉から感ずるものや、知名度という点から考えると

どうなんだろうという気がします。5点程度の中に入れるほどではなく、今回は外してよいのではないですか。そうすると選択肢が限られてくるので選びやすくなるし。

白鳥文雄委員長 ええとそれではですね、今まで各委員さん方からいろいろご意見が出されましたが、ちょっとここでまとめて、5点の候補になり得るものをちょっとまとめてみます。

まず津藤委員さんから出されました漢字の「栗原市」とひらがなの「くりはらし」については、ここにおいで各委員のほとんどが候補に上げておられるようでもあり、先ほど異議なしの声が多かったようですが、この2つは第一次候補の中に入れてよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

何かご意見ございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

ではこの2つにつきましては候補とすることに決定いたします。

次に長谷川委員さんからのご意見の「栗原市(くりはらし)」と「栗原市(くりばらし)」のうち「栗原市(くりばらし)」は除いた方がよいのではとのことですが、皆さんいかがですか。

白鳥一彦委員 年配の方々は「くりばらし」と濁って発音される方も結構いるようですが、我々も含めてもっと下の年代の人たちは殆どが濁らないと思いますので、これから合併して新しいまちづくりをしていく市の名前からすれば、今回「栗原市(くりはらし)」が候補に入ったので、1つあれば十分ではないのかなと思います。

白鳥文雄委員長 ただ今のご意見につきまして、委員さん方なにかございませんか。

(「なし」の声あり)

では「栗原市(くりばらし)」、これは除くことにしてよろしいですか。

(「よし」の声あり)

それでは、続いて鷺沢町の須藤委員さんから「北宮城市」を候補にというご意見がございましたが、皆さんどうでしょうか。

(「いいと思います」「はい」の声あり)

では「北宮城市」につきましては、第一次候補の中に入れてよろしいですか。

(「異議なし」の声ありあり)

何かご意見ございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

ではこの「北宮城市」につきましては第一次候補とすることに決定いたします。

次に栗駒町の佐藤委員さんから「くりこま高原市」を候補にというご意見がございましたが、皆さんどうでしょうか。

(「よろしいと思います」の声あり)

では「くりこま高原市」につきましても、第一次候補の中に入れてよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

何かご意見ございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

ではこの「くりこま高原市」につきましても第一次候補とすることに決定いたします。

そうしますと、5点決めるうちの4点が決まったことになるのですが皆さんそれでよろしいですか。

(「はい」「異議なし」の声あり)

はい、ではそのように決定させていただきます。

そうすると残る1点についてですが、もう少し皆さんと協議を進めたいと思いますので、続けてご意見などお願いしたいと思いますが。

はい津藤委員さん。

津藤國男委員 瀬峰町の津藤です。

この24種類の中にあるうち、「白鳥市」については、白鳥(はくちょう)の持つ飛び立つイメージや清楚なイメージを連想させる訳ですが、読み方となると「はくちょう」だの「しろとり」だの「しらとり」だの、使う側にとって混乱する恐れがあるんじゃないでしょうか。そうしたことから、今回はあえて候補には入れないでおいた方が私はよいのではないかと考えます。

それからですね「栗未来市」と「宮城栗原市」と「十和市」についても、それぞれ連想させるものが今ひとつといった感じなんで、ここの栗原地域を一言と申しますか、すばっと表現するような感じのものではないような気がします。

白鳥文雄委員長 三浦委員さん。

三浦徹也委員 若柳町の三浦です。

私はこの24種類の中の「伊治市(これはるし)」については、皆さんもご存知のとおり「くりはら」という読みの源と考えられる歴史的な意味はあるんですが、読み方がこれは特殊で「伊治市(いじし)」とも読めます。これは使う側にとって混乱する恐れがあると思いますことから、今回は候補から除外してもよいのではないのでしょうか。

白鳥文雄委員長 志波姫町の白鳥委員さん。

白鳥一彦委員 志波姫町の白鳥です。

私は残る1点の名称については若者向けで夢のある名前もいいのではないかと思います。そういう意味からは「すばる市」なんていうのもいいんじゃないでしょうか。話題性もあってPR効果も多少は考えられるでしょうし、いいと思います。

白鳥文雄委員長 長谷川委員さん。

長谷川厚子委員 築館町の長谷川です。

この栗原地域は「米どころ」でありますので、この際それらをイメージさせるような名称もいいのではないのでしょうか。そういうことからすると「栗穂市」がいいと思いますがいかがでしょうか。

白鳥文雄委員長 海老田さん。

海老田慶子委員 高清水町の海老田です。

先ほど白鳥委員さんがおっしゃいましたが、「すばる市」については、応募の理由がすばらしいと思います。ちょっと読みますね。『「10個」の自らの輝きを放つ恒星の集まりであり、あたかも栗原地域10町村の集合体にも類似し、未来永劫輝き続けけるようにとの切なる願い』とあります。

私もその言葉の持つ壮大なイメージや、知名度、名称そのものが与える「夢」がある、という点から考えて今回5点の候補の中に入れてよいのではないかと思います。以上です。

白鳥文雄委員長 はい三浦委員さん。

三浦徹也委員 若柳町の三浦です。

また発言してすいません。ただ今のお話とはまた違いますが、「駒形市」と「栗峰市」はいずれも

候補案とした委員さんが複数名いらっしゃるようですが、知名度という点から考えると5点の中に入れるほどではないような感じがするのですが。また「栗峰市」は「りっぼうし」ということで、これはなかなか発音しにくいと感じる人もいないのでしょうか。

白鳥文雄委員長 須藤委員さん。

須藤 茂 委員 資料を見ると公募では「東栗駒市」が2番目に多いですね。これ応募総数はあくまで参考程度という事務局から前に説明はあったんですが、どんなものなのか。参考程度で本当によいのでしょうか。

白鳥一彦委員 私は「東栗駒市」については、合併した場合に旧町村名になる栗駒町の「栗駒」が入ることとなり、これですと対等合併という観点からは、栗原10ヶ町村の住民の皆さんが共通して使っていく時になにか感情的なものが残らないかちょっと心配なところもあると思います。そういう意味では、応募総数というのはあくまで参考程度であって、実際に使う人の立場とかを考えて選んでいくべきだと思いますので、今回は候補から除いていいんじゃないかと思います。あと「くりこま市」も同じような理由で除いていいと思います。

白鳥文雄委員長 津藤委員さん。

津藤國男委員 ただ今の件ですが、この名称募集の考え方で旧町村名は使われないことになっていたと思います。そういう意味からはルール上は外して考えていいと思うんですが。「東栗駒市」というと、どうも今ある栗駒町さんの東に新しく生まれる市という印象を持ってしまう感じも少しします。

ただ、先ほど決めました「くりこま高原市」についても「くりこま」が入っているようですが、これにつきましては既に駅名として10年以上使われてきており、今の「東栗駒市」や「くりこま市」と比べもっと広い範囲・地域を連想させる感じがしますし、特定の町村名へのこだわりとありますが、偏りや感情的なものはないと思っていいんじゃないでしょうか。そういう意味からは、今ご意見が出ました「すばる市」なんかは入れてもいいと思います。

(「そうだね」の声あり)

白鳥文雄委員長 それでは、今いろいろとご協議いただきました内容を整理いたしますと、皆さん5点の中に入れるのに異論が無かったものとして、先ほど決めました漢字の「栗原市」、ひらがなの「くりはら市」、「北宮城市」、「くりこま高原市」の4つ、そしてただ今いろいろと話し合った中では「すばる市」を入れたらいいんじゃないかとのご意見がございました。そうしますと「すばる市」を加えたこれら5つでよろしいでしょうか。

(「はい」「異議なし」の声あり)

はい、それでは、ただ今読み上げました5点を、新市の名称検討小委員会が選定した第一次名称候補として決定してよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

ではこの5点を協議会にご報告いたすことといたします。(拍手)

ありがとうございました。

3) その他

阿部事務局次長 委員の皆様慎重なご協議ありがとうございました。

協議会への報告は、12月11日に開催されます第9回の協議会の場で、新市の名称検討小委員会

報告として白鳥委員長様よりご報告していただくこととなります。報告内容は、第1回目の小委員会内容、募集内容、本日の協議経過をご報告することとなります。名称の決定にあたりましては、第9回の協議会では提案ということで、第10回の協議会において決定されることとなるかと思いを。

それから名称の決定方法にあたりましては、本日ご協議いただきました5点の名称候補の中から投票等による決定を考えてございますが、具体的には協議会当日に皆様方へお諮りすることになるかと思いを。以上でございます。

白鳥文雄委員長 以上のとおりですが委員さん方何かございませんでしょうか。

中條彦登委員 白鳥委員長さんには大変ご苦勞様でした。その上に協議会での委員会報告をお願いすること、大変恐縮でございます。

今日この5点ですか、決まった訳ですが、合併協議会では必ずやこの中から新しい市の名称が円満に決まることを願っておる次第であります。意見というか希望です。

白鳥文雄委員長 お励ましありがとうございます。

他に委員さん方ございませんでしょうか。なければ閉会しますが、よろしいですか。

(「はい」の声あり)

では閉会といたします。

4. 閉会の挨拶

阿部事務局次長 それでは閉会に当たりまして、副委員長さんから閉会のご挨拶をいただきます。

長谷川厚子副委員長 本日は第2回目の小委員会ということで、委員の欠席も無く協議が進められ新市の名称検討小委員会として協議会から附託されました新市の名称第一次選定候補の決定が無事に決まりましたこと、皆様方に御礼申し上げます。

本日決まりましたこの5点の候補の中から栗原地域が合併して新しい市の名称として、地域の皆様に未永く愛され、親しまれる名称が選ばれることを願っております。

本日は、どうも皆様ご苦勞様でした。

5. 閉会

阿部事務局次長 以上をもちまして本日の会議の一切を終了させていただきます。

皆様大変ご苦勞様でした。

午後3時25分 閉会